

よく分かる札幌のお財布事情



市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんの納めた税金などどのように使われているかをお知らせしています。今回は、市の財政状況や平成21年度決算の概要をお伝えします。

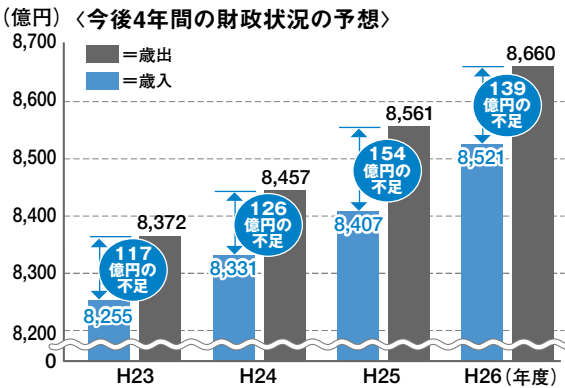
【詳細】総務資金課 ☎211-2216

厳しさが続く、市の財政状況

キーワード①
収支不足

このままでは、毎年100億円以上のお金が不足します

高齢化や景気の低迷などの影響で、医療や福祉など「どうしても掛かる支出」は、年々増えています。一方で、市税や地方交付税などの収入は、厳しい経済状況の中、簡単には増えないことから、毎年収支不足が見込まれています。



Q. 不足分は、どうやってやりくりしているの？

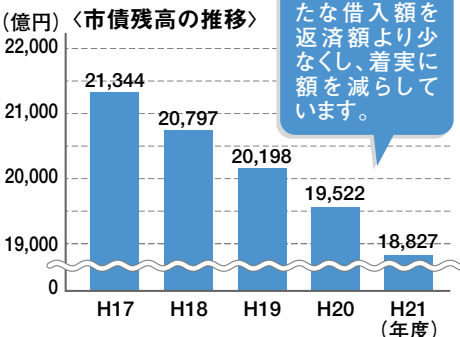
A. お金の使い方、集め方を工夫し、収支を合わせているよ

1. 市役所内部の人員費や事務の見直し
2. 必要性の高い事業に重点化
3. 民間の資金や能力を活用
4. サービス水準や料金の適正化
5. 市有地の売却など市の財産を有効活用

キーワード②
市債

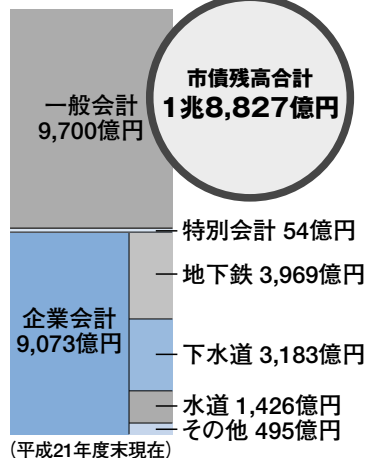
市債残高は1兆8,827億円！でも、着実に減っています

市債とは、市の借金のこと。その額は平成21年度末現在で、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて、1兆8,827億円です。



ここ数年は、新たな借入額を返済額より少なくし、着実に額を減らしています。

〈市債残高の内訳〉



Q. なぜ借金をするの？

A. 将来にわたって費用を分担するためなんだよ

市債は、主に地下鉄や学校など、札幌の街の基礎となり、長い期間使用する施設を造るときに発行します。造る費用の一部を市債で賄い、分割して返済することで、将来の世代の市民にも費用を公平に負担してもらうためです。

キーワード③
財政指標

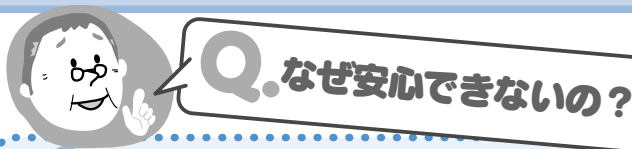
財政指標は比較的良好ですが、安心はできません

自治体の財政の健全性を表す4つの指標上は、いずれも危険な基準を超えておらず、市の財政状況は良好とされています。

〈健全化判断比率〉平成21年度決算

指標	内容	札幌市	危険信号※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	早期健全化基準 11.25%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	11.3%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	137.1%	400%

※この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります



A. 札幌のお財布には弱点があるからだよ

ほかの政令市と比べて、市税など自力で得る収入が少なく、また、お金の使いみちの自由度が低いのです。

財政力指数 0.699
標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合

政令市
18都市中
18位
※政令市平均0.875

経常収支比率 99.8%
お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているかを示す割合

政令市
18都市中
16位
※政令市平均95.5%

(平成21年度決算)

平成21年度決算の状況

昨年度のお金の使われ方を、一般・特別・企業の3つの会計ごとに見ていこう

一般会計では、歳入から歳出を引いた収支は、18億円の黒字となりました。歳入では、地方交付税や財産収入などが予算額を下回ったものの、歳出をできるだけ節約。その結果、市の貯金(財政調整基金)からの取り崩しを、予定の66億円から30億円に抑えることができました。



一般会計

歳入から歳出を引いた差し引き18億円のうち15億円を22年度に繰り越し、3億円を貯金しました。

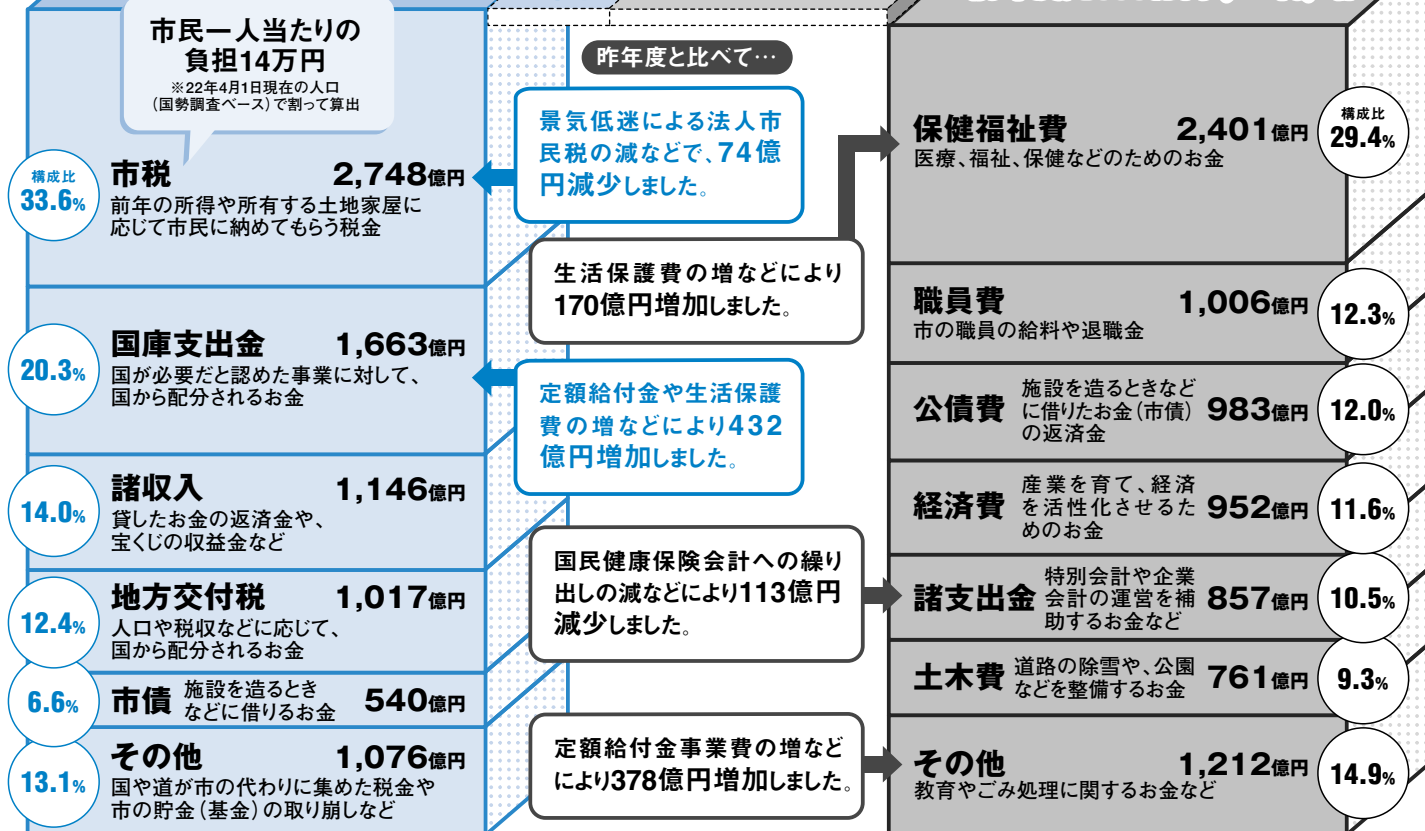
市民一人当たりのサービス43万円
※22年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

歳入総額8,190億円
前年度比545億円(7.1%)増

貯金
3億円

繰り越し15億円

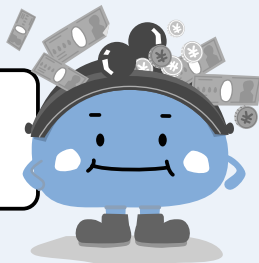
歳出総額8,172億円
前年度比550億円(7.2%)増



平成22年度の 予算の執行状況

(平成22年9月末現在)

今年4月～9月の
主なお金の動きを
報告するよ



〈一般会計〉

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
8,419億円	41.2%	40.4%

〈特別会計〉

区分	歳入歳出 予算額	執行率	
		歳入	歳出
国民健康保険	1,870億円	31.0%	41.8%
後期高齢者医療	199億円	34.5%	33.8%
介護保険	986億円	38.8%	42.1%
その他	55億円	25.4%	14.8%

〈企業会計〉 収益的収支の状況

区分	予算額	執行率
市立札幌病院	収入 222億円	52.2%
	支出 229億円	48.3%
中央卸売市場	収入 18億円	46.8%
	支出 25億円	25.2%
路面電車	収入 13億円	36.7%
	支出 15億円	32.0%
地下鉄	収入 474億円	42.7%
	支出 437億円	26.8%
水道	収入 426億円	50.3%
	支出 386億円	34.3%
下水道	収入 414億円	52.4%
	支出 424億円	22.8%

〈市債残高〉

区分	市債残高
一般会計	9,614億円
特別会計	53億円
企業会計	8,778億円
合計	1兆8,445億円

〈一時借入金〉

企業会計(地下鉄) 20億円

〈基金〉 2,309億円

特別 会計

9つある特別会計はいずれも赤字はありませんでした。

区分	歳入	歳出	差引
土地区画整理	39億円	39億円	0円
駐車場	4.1億円	3.9億円	0.2億円
母子寡婦福祉資金貸付	2.8億円	1.6億円	1.2億円
国民健康保険	1,812億円	1,812億円	0円
老人医療	4.6億円	1.7億円	2.9億円
後期高齢者医療	178億円	173億円	5億円
介護保険	941億円	939億円	2億円
基金	12.3億円	11.9億円	0.4億円
公債	4,238億円	4,238億円	0円

企業 会計

6つの企業会計全体で62億円の黒字となりました。
しかし、会計別では4会計が赤字となっています。



市立札幌病院

主な実施内容: 新生児集中治療室(NICU)の増床やナースコール設備の更新

●収益的収支の状況

収入 **215億円** 支出 **217億円**

差し引き **-2億円**

●資金の状況 **37億円の資金残**
赤字の累計額 **180億円**



中央卸売市場

主な実施内容: 敷地の有効活用のための道路用地取得と路盤整備など

●収益的収支の状況

収入 **18億円** 支出 **25億円**

差し引き **-7億円**

●資金の状況 **12億円の資金残**
赤字の累計額 **47億円**



路面電車

主な実施内容: 老朽化した軌道・舗装面の改良、車両の改修

●収益的収支の状況

収入 **12億円** 支出 **13億円**

差し引き **-1億円**

●資金の状況 **5億円の資金残**



地下鉄

主な実施内容: 車両のワンマン化やIC専用改札機の購入

●収益的収支の状況

収入 **466億円** 支出 **435億円**

差し引き **31億円**

●資金の状況 **11億円の資金不足**
赤字の累計額 **3,348億円**



水道

主な実施内容: 施設の耐震化、緊急貯水槽の設置

●収益的収支の状況

収入 **424億円** 支出 **381億円**

差し引き **43億円**

●資金の状況 **58億円の資金残**



下水道

主な実施内容: 汚泥処理の集中化、老朽化した施設の改築・更新

●収益的収支の状況

収入 **414億円** 支出 **417億円**

差し引き **-3億円**

●資金の状況 **63億円の資金残**
赤字の累計額 **274億円**

資金: 年度末に残っている現金などのこと

資産の状況

財産

基金

■ 現在高 **2,320億円**
財政調整基金 **102億円**
など **22基金**

- 公有財産 土地 / 5,360万㎡
建物 / 延べ面積 563万㎡
有価証券 / 16億円
出資による権利 / 160億円 など
- 物品 (100万円以上のもの) 3,908点 (台)
- 債権 (民間への貸付金など) 60億円